

中学校・道徳の内容項目の解説

異性の理解

●中学校学習指導要領（平成20年3月）

2 主として他の人とのかかわりに関すること	[一般的な呼称例]
(4) 男女は、互いに異性についての正しい理解を深め、相手の人格を尊重する。	異性の理解

●解説

全体的な理解	<p>今日、男女が、社会の対等な構成員として、自らの意思によって社会のあらゆる分野における活動に参画する機会が確保され、もって男女が平等に政治的、経済的、社会的及び文化的利益を享受することができ、かつ、共に責任を担うべき社会の実現が求められている。互いに異性についての正しい理解を深めることは、互いに相手のよさを認め合うということである。独立した一個の人格としてその尊厳を重んじ、人間としての成長と幸せを願うという点において、男女間における相互の在り方は基本的に同性間におけるものと変わるところがない。人間の社会が男性と女性とによって成り立ち、家庭においても職場においても互いに協力することによって望ましい社会生活が営まれるわけであるが、それは独立した人間それぞれの個性が尊重され、互いに生かされ合うことによって可能となる。したがって、男女間における関係は、それが友情に基づく場合でも、恋愛感情に基づく場合でも、いかなる場合も相手に対する理解を深め、信頼と敬愛の念をはぐくみ、互いに向上していくものでなければならない。</p>
発達的な観点	<p>中学生の時期は、一般に異性に対する関心は強くなるが、生徒の心身の発達には個人差が大きく、学年が上がるにつれ、異性に対する感情や考え方にも大きな差異が見られる。また、異性に対する関心やあこがれは様々な形で現れる。意識的に異性を避けたり、また逆に異性の関心を誘うような態度をとったりすることもある。あるいは、様々なメディア等を通してもたらされる興味本位のゆがんだ情報や間違った性知識を無批判に受け入れ、様々な問題行動に至ることもある。</p>
指導の着眼点	<p>指導に当たっては、異性に対する関心が高まることは、自然な成長の流れであることを踏まえつつ、真剣に異性のもつ見方や考え方を知るよう心掛けることが必要であり、それを基に自分の異性に対する姿勢を見直すきっかけとなるように指導する必要がある。相手のものの見方や考え方に対する理解が深まることによって、自己の成長を実感できるものとなるだろう。社会の状況は、青少年の成長に必ずしも好ましい状況にはない。学校においては、異性の特性や違いをきちんと受け止め、相手の人格を尊ぶ姿勢を育成することが重要である。更に、保健体育科における性に関する指導等との関連を生かした指導の工夫が望まれる。</p>

文部科学省「中学校学習指導要領解説・道徳編」（平成20年9月）より

■参考：小学校学習指導要領（平成20年3月）

2 主として他の人とのかかわりに関すること	[一般的な呼称例]	
低学年	(3) 友達と仲よくし、助け合う。	友情
中学年	(3) 友達と互いに理解し、信頼し、助け合う。	信頼友情
高学年	(3) 互いに信頼し、学び合って友情を深め、男女仲よく協力し助け合う。	信頼友情・男女協力